



永原学園地域子育て支援センター  
**さんこう・ぽぽらだより**  
 令和6年5月発行 第205号  
 認定こども園西九州大学附属 三光保育園  
 TEL:0952-31-6877

☆5月・6月の「フリーデイ」について  
 保育園の支援センターを開放します。

※事前の予約はいりません

日時: 5月7日(火)・8日(水)・9日(木)  
 6月4日(火)・5日(水)・6日(木)



♪育児相談・食育相談をしています♪

三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け付けています。お気軽にお申し込み下さい。

(平日の9:30~17:00まで)

※毎月第3火曜日の14時~16時までは、西九州大学短期大学部教員による、食育相談を行っています。事前にお電話でお申し込みの上、ご利用下さい。

いきものとの触れ合い♥

新緑が目まぶしい季節となりました。

先週、こども園の子ども達は親子遠足に出かけました。場所は神野公園と森林公園に分かれての開催でしたが、久しぶりに解散までの時間をたっぷりとったせいか、色々なことに気付くことができました。

森林公園に出かけた4、5歳児は、途中川に泳ぐ鯉やフナ、そして優雅な泳ぎを見せてくれるカメの姿に驚いていました。“幼稚園のカメは、泳ぐの見たことないけど、森林公園のカメはすごいね!”との会話に、園でもカメの池にたっぷり水を張って泳ぐところを見せてあげたいと思いました。シロツメ草や春の草花が咲く芝生の上には、モンシロチョウやモンキチョウが舞い、それを追いかけて走り回る子ども達も見られました。中には芝生を背に寝転んで空を見上げて会話をする女兒たちもいて、自然がもたらしてくれる五感を磨く時間に感謝した次第です。

さて、園庭ではダンゴムシを夢中になって探す子、土の中から幼虫(何の幼虫かは不明)を見つけて飼いだす子、水槽の金魚を毎日2~3回観察にくる子、飼育小屋のうさぎとチャボに愛着を感じ始めた子等々、生き物が傍にすることで、色々な感情が育っています。生き物との触れ合いを通して、命の尊さが理解できるようにしてほしいと思います。(三光保育園長)



☆親子で楽しくじゃがいもほり体験しませんか!

★日時 ①5月21日(火)10:00~12:00 ②5月23日(木)10:00~12:00

内容:じゃがいも掘りの体験(対象:2歳以上)(両日先着15組)

場所:佐賀市金立公民館駐車場(現地集合・現地解散)

持ってくるもの:帽子、手袋(軍手)、シャベル、おしぼり、お茶、おやつ、着替えなど

※掘ったじゃがいもは買い取れますので、小銭と袋を準備して下さい。

★様々な状況により、計画の変更や中止がある場合があります。お出かけの前にホームページで支援事業の有無をチェックしてください。

☆5月・6月の講座について

5月15日(水)…環境講座「アロマの虫よけスプレーづくりとSDGs」(先着8組:材料費800円)

5月17日(金)…子育て世代の防災講座(先着5組)

6月25日(火)…リフレッシュストレッチ講座(先着8組)

6月27日(木)…ベビーマッサージ講座(先着5組:オイル代500円)(対象:2か月~12か月)

☆6月の「子育て支援事業」のお知らせ

6月14日(金)…なかよしミックス(絵本)(先着10組)

6月21日(金)…赤ちゃんの日(ベビードダンス)(先着10組)

※上記の子育て支援事業は、事前に電話での申し込みが必要です。

5月分の申し込みは、5月1日から受け付けます。6月分は、6月3日からです。



☆いよいよ6月から「なかよし1歳」

「なかよし2歳」が始まります。

6月10日(月)・11日(火)…なかよし2歳

6月12日(水)・13日(木)…なかよし1歳

1年間、よろしくお祈りします♪

「シニアサロンぽぽら」

月に一回、地域の方にお越しいただき楽しいひと時を過ごしています。おしゃべりやモノづくりを楽しみませんか?

5月31日(金)・6月20日(月)

さんこう・ぽぽら(園庭を含む)開放の時間帯について

【開園日】〇月~金(祝祭日・お盆・年末年始を除く)

【時間】〇9:00~12:30

・園行事の為、ご利用できない場合があります。

・出前支援の場合は、担当職員が不在になります。

12:30~13:30 昼休み・準備の為閉園

13:30~16:00

※この時間帯のご利用の場合は、電話での申し込みをお願いいたします。

「時には親子で耳を澄まして、音を聴いてみましょう」

西九州大学子ども学科 教授 櫻井琴音

今回は、音楽活動の基盤ともいえる「聴く活動」についてお話してみることになります。例えばピアノ教室へ通うようになると、楽譜の読み方や指の動かし方等の基礎を学び始め、次第に強弱や速度などの音楽要素に気を配り、曲想豊かに表現することを学んでいきます。表現するには耳を澄まして音を聴き、音への気づきを得ることが不可欠なのですが、実は身の回りの音の傾聴による音楽教育もあるのです。

サウンドスケープという言葉に耳にしたことはおありでしょうか。これは音の環境、あるいは音の風景と訳されており、1960年代にカナダの作曲家で音楽教育家のR. マリー・シェーファーが提唱しました。その場に響いている固有の音や自然界の音も含めた音の環境のことで、景観を意味するラウンドスケープに対する造語です。風景には音が欠かせないという考え方で、きこえてくる音だけでなく、それを生み出している環境や、そこで生活している人々との関係性も含まれる概念です。このようなサウンドスケープの考え方にに基づき、身近な環境に耳を傾けて聴く技術を向上させるための教育を、サウンド・エデュケーションと呼んでいます。ここでは、シェーファーが著した子ども向けのワークブック『音さがしの本 リトル・サウンドエデュケーション』に掲載されている100のサウンドワークの一部をご紹介しますから親子で体験してみてください。

1. ほんの少しの間、すごく静かに座ってみよう。そして耳をすましてみよう。今度は紙に、聴こえた音を全部書き出してみよう。
2. 音を全然立てずに、立ち上がれるかな？ どうやったらパッとできるか考えてみよう。それから試してみよう。
3. 紙を一枚持ってきて、音を全然立てないように、その紙を部屋にいる皆で回してみよう。
4. 一枚の紙を楽器だと思ってみよう。みんなが、それぞれ違った音をつくらなければならない。紙を折ったり、息を吹きかけたり、落としたり、ちぎったり、他にどんなことができるかな。ただし、最後まで丸めないように。
5. 「音のかくれんぼ」をやったことがあるかな？ 時計とかラジオとか、何かずっと音がするものを持ってきて、家のどこかに隠そう。それから耳だけを頼りにして、それがどこにあるのか探してみよう。

耳を澄ますことによって得られる音への気づきは、子どもだけでなく、大人にとってもハッとするような体験をもたらします。試してみてください。

